

～地方創生2.0 好事例の普遍化に向けて～ (1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生



海士町のまちづくり(島根県海士町)

とっとり週1副社長プロジェクト(鳥取県)

シェア金沢(石川県金沢市)

モバイルクリニック(長野県伊那市)

やまがたグローバル人材育成コンソーシアム(山形県)

- ・公募した15歳から70歳までの住民が、自治体の総合振興計画の策定作業に参画
- ・ワークショップなどでの作業を通じ、絵本のような冊子を製作しイメージを具体化

- ・ビジネス人材の誘致に精通した戦略マネージャーを招聘
- ・都市部の人材と県内企業をマッチングする枠組みを構築

- ・計画段階から自治会や町民と構想を議論
- ・子ども、高齢者、障がい者、地域の人たちが「ごちゃまぜ」で共生するまちづくりを実施

- ・産官学によるコンソーシアムを組織し、最新のテクノロジーを活用した地域課題解決に関し議論
- ・実証実験を経て、オンライン診療サービスを実装

- ・行政、県内企業、高等教育機関がコンソーシアムを形成
- ・地元企業等で働く外国人社員と留学生へのキャリア教育、就職支援を実施



コミュニティナースプロジェクト(島根県雲南市)

こうべ女性就業・活躍促進プロジェクト(兵庫県神戸市)

えちぜん鉄道(福井県)

馬場川通り(群馬県前橋市)

- ・地域住民の健康を見守る「コミュニティナース」を育成、輩出
- ・普段からの会話の積み重ねを通じ住民同士が健康状態に気づき、予防するためのきっかけを与える

- ・若い世代の女性による新しいビジネスや女性の活躍・働き方改革を促進
- ・一時保育付きコワーキングスペースの運営や、女性の再就職支援等を実施

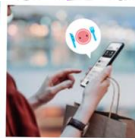
- ・地域住民・自治体・事業者で協議会を設置
- ・きめ細かいサービス・需要の掘り起こし等により利用増を実現

- ・地元企業が、中心市街地にイベント広場等を整備
- ・地元の経営者らでつくるまちづくり団体が遊歩道などを整備
- ・また、これら施設の管理運営まで行うなど、持続的なエリアマネジメントを実施



長崎スタジアムシティ(長崎県長崎市)

- ・地元出身の会社が大型複合施設を建設
- ・スポーツの試合、アイスショー、音楽イベントなど様々なイベントを開催



社会変革推進財団による地域活性化(沖縄県浦添市等)

まちづくり松山(愛媛県松山市)

瀬戸内暮らしの大学(香川県三豊市)

共助型買物サービス「おたがいマーケット」(奈良県奈良市)

京丸園(静岡県浜松市)

- ・地域活性化に向けた取組を行う企業等に対し出資・支援
- ・10年以上取引のない休眠預金等を活用しビジネスコンテストや起業支援を行う取組をサポート

- ・地域(産官学金言)が自発的にまちづくりに取り組み稼げるよう、組織運営支援等の取組を実施
- ・電子決済のほか、デジタルマーケティング等に有効なデータ分析機能などを搭載したアプリを地域に実装

- ・地元の企業・個人が出資して会社を設立
- ・若者から社会人まで幅広い年齢層を対象とした学び・人材育成の機会を提供

- ・日本郵政職員が自治体出向
- ・郵便局の既存の物流網を活用し山間部での買物を可能にする仕組みを構築

- ・農業を通じた障害者の社会参画をめざす「農福連携」を実施
- ・産官学の協議会で、地域における農福連携の拡大に向け活動

～地方創生2. 0 好事例の普遍化に向けて～

(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

① 地域資源活用編



【農林水産業】香川県土庄町

美しい棚田風景の保全

×

農山漁村に泊まり食事や体験を楽しむ「農泊」

×

コンテンツの舞台を訪問する「聖地」化



【教育】徳島県神山町

全国でおよそ20年ぶりに新設された高専（神山まると高専）

×

デジタル人材の育成



【まちづくり】鹿児島県薩摩川内市

快適な水辺環境の整備

×

伝統的建造物群保存地区・コミュニティスポーツパーク



【まちづくり×観光】山形県鶴岡市

「美しい水田風景」という地域資源

×

未利用地の有効活用

×

インバウンド誘客



【文化】福井県小浜市・若狭町

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～（日本遺産）

×

鯖街道トレッキング

×

地場産品を用いた伝統食、古民家を活用した宿泊施設



【農林水産業】青森県弘前市

りんごの栽培効率化

×

市場（国内・国外）に最適化した生産・流通プロセス



【交通×産業】北海道上士幌町

自動運転バスを活用した「交通空白」解消

×

畜産由来メタンガスを活用した発電電力

×

再エネの地産地消モデル



【産業】福島県福島市

震災からの復興

×

医療・介護ロボットやドローンで課題解決をめざすスタートアップ育成

×

一般の人がロボットを見学・体験



【まちづくり】三重県伊勢市

菓子製造を中心に、酒類製造、介護事業、ホテル、プライダルなど、多様な事業の展開

×

地域の大学生や高校生と産官学の関係者が連携し地域の課題解決に向けた取組を実践

【農林水産業】静岡県西伊豆町

漁村・漁港ならではの魅力を活かす「海業」

×

釣り人の誘致

×

電子地域通貨・アプリ開発で遊漁集客²

～地方創生 2. 0 好事例の普遍化に向けて～
(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

②産業基盤編

産業基盤の拠点や、拠点同士の連携による「新結合」の取組が始まっており、
インフラやデジタルを活用しつつ、自治体の枠を超えた広域展開を図る

	凡例
大学産業交付金、J-Innovation Hub等により整備された産学連携拠点	■
その他新技術の実証を目的として整備された拠点	■
特区制度	○
スタートアップ拠点都市	●
半導体産業に対する国策的PJ支援	○



【島根県松江市】
金属素材研究拠点
たたら製鉄ゆかりの地で、
島根大学を中心に最先端の
金属素材研究を展開



【沖縄県恩納村】
OIST イノベーション
国際的にも高い求心力を持つ産学連携拠点



【北海道大樹町】
ロケット射場
民間に開かれた宇宙港による
関連産業誘致



【福島県南相馬市・浪江町】
福島ロボットテストフィールド
「実証の聖地」における世界最先端の拠点を
目指し、ロボット・ドローン等の実証環境を整備



【愛知県名古屋市】
STATION Ai
日本最大のスタートアップ支援拠点

【茨城県つくば市】
スーパーサイエンスシティ
規制・制度改革とデータ連携を
一体的に進め、先端的服务を実装

～地方創生 2. 0 好事例の普遍化に向けて～

(3)人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～



二地域居住の推進 (鳥取県内3町・高知県内4市町村)

- ・各自治体が認定した者に対して、航空会社が特別価格で航空券を提供
- ・二地域居住者への交通費負担軽減等を図る



ヒダスケ！(岐阜県飛騨市)

- ・自治体が住民のチャレンジしたいことや困りごと等を登録するプラットフォームを開設
- ・地域内外の「お手伝い」したい人とマッチング
- ・体験ツアーやボランティアなど地域内外の人々同士の交流と支え合いを創出



地域の人事部(北海道道東地域)

- ・自治体・金融機関・教育機関が連携
- ・「道東で働きたい、戻ってきたい」と考える若者をターゲットにした情報発信や域内企業等とのマッチング・定着を推進



サザンクロスシステムズ (宮崎県宮崎市)

- ・創業者の地元の宮崎へ本社機能の一部を東京から移転
- ・地方拠点強化税制を活用



こどもの農山漁村体験(山形県飯豊町)

- ・東京都杉並区・飯豊町の官民が連携し、体験活動を支援
- ・体験にとどまらず、当該校の給食で飯豊町の食材が使われるなど、持続的な関係が構築



浅野燃糸(福島県双葉町)

- ・復興に貢献するため、社長ゆかりの地である福島に工場を新設
- ・タオル販売店やカフェなども併設し、移住者、地元出身者、若い方々を雇用

～地方創生 2. 0 好事例の普遍化に向けて～

(4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用



関西サイバーセキュリティ・ネットワーク(大阪府等)

- ・産官学個が連携し、地域のサイバーセキュリティ分野での協力体制を構築
- ・人材発掘・育成、情報交換、機運醸成の場を提供



松山大学(愛媛県松山市)

- ・私立大学と県が、DX人材の育成に関する連携協定を締結
- ・新たに「情報学部情報学科」を新設
- ・デジタル技術の導入や運用を推進していく人材を育成し、産業界等へ輩出



さくらインターネット石狩データセンター(北海道石狩市)

- ・石狩市とさくらインターネットが包括連携協定を締結
- ・地域特性を活かし、再エネを活用しながらDX・GXを推進



レポサク(北海道中標津町)

- ・地元のスタートアップ企業が、農業用車両の電源に挿すだけで作業の進捗状況を簡単に可視化できるツールを開発
- ・自治体が地域の農業関係者に対し本取組を紹介し、地域の農作業効率の向上を実現



自動運転バス(茨城県境町)

- ・自動運転バスの導入に向け、町が住民や企業、議会との信頼関係の下、議論を実施
- ・日本の自治体で初めて自動運転バスの定常運行を実現



ドローンの多数機同時運航(鹿児島県瀬戸内町)

- ・1人の遠隔操縦者により、ドローン5機を同時運航(全国4地点)
※NEDO、KDDI、JALの3社共同
- ・人手不足の地域において、効率的なドローン配送を拡大



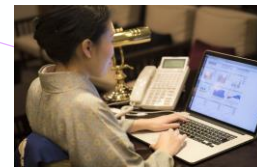
香川高専(香川県三豊市)

- ・高専で学んだ技術者が起業し、地域企業のDXを推進
- ・送電線の異常を検知するAIシステムを開発・導入



水道管の漏水確認(愛知県豊田市)

- ・人工衛星からの電磁波の反射データをAIで解析するツールを導入
- ・優先的に調査すべき水道管の漏水エリアの特定等を実施



陣屋旅館(神奈川県秦野市)

- ・旅館業の業務をクラウド上で管理する基幹システムを構築
- ・従業員が複数タスクをこなしたり自発的に他のスタッフのサポートができるようになった
- ・業務効率化、経営改善を実現

～地方創生 2. 0 好事例の普遍化に向けて～
(5) 広域リージョン連携



関西広域連合

- ・日本で唯一の府県を超えた広域連合
- ・域内の公設試験研究機関や大学等が連携し企業の技術支援を行うプラットフォームを構築
- ・経済団体とも定期的に意見交換の場を設け、連携



“昇龍道”プロジェクト

- ・中部・北陸9県の地図を龍の姿に重ね連携
- ・自治体、関係団体、観光事業者等が広域観光周遊ルートを作成
- ・インバウンド誘客に向けたハード・ソフト一体となった取組に対し国が支援



みちのく潮風トレイル

- ・八戸市から相馬市まで東北太平洋沿岸を一本の道でつないだ長距離自然歩道
- ・国、自治体、民間団体、地域住民等が広域連携・協働
- ・東北の復興、豊かな自然、地域の暮らしに触れる旅の提供や道の維持管理、インバウンドを含む観光振興やまちづくりを推進



九州地域戦略会議

- ・九州地方の知事会・経済団体で会議体を組織
- ・各自治体や企業・組織・金融機関が一丸となって、半導体産業の振興に向けた拠点の整備や、九州全域でのMaaS事業など、独自の発展戦略を策定、推進



奈良モデル(奈良県)

- ・水道や道路などの分野で、県・市町村それぞれの職員が予算、インフラ施設を有効活用するなど、戦略的にマネジメント
- ・県内市町村が意見交換する機会を定期的に設け、連携を強化



リニア中間駅を始めとした新たな広域圏

- ・リニア中央新幹線開業を機に「日本中央回廊」の核となる新たな圏域を形成
- ・多様な自然や文化を有する地域を内包する新たな経済集積圏域を形成